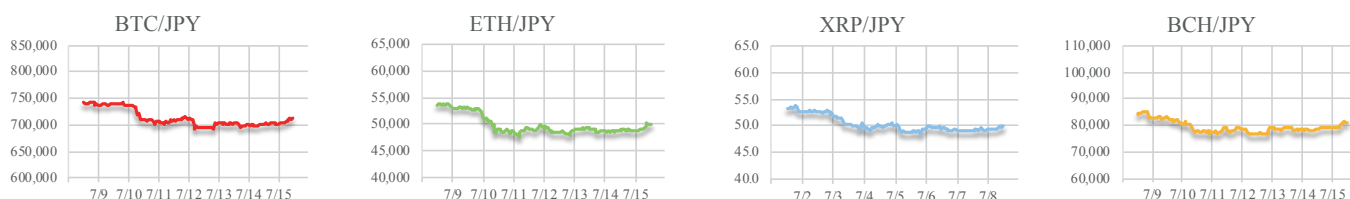


## 主要通貨相場動向



### 相場回顧 Bancor ハッキング被害により BTC 大幅下落

BTC は週初に分散型取引所 Bancor のハッキング被害発覚により大幅下落した。Bancor は被害総額 2,350 万米ドル相当の内 BNK(1,000 万米ドル相当) については凍結したと発表したが、この対応を見て業界内では DEX としての分散性に疑問の声が上がっている。その後はタスクフォース設置を命じた米国大統領令の影響か、BTC=70 万円台を割り込む場面も見られたが、相場が大きく崩れることは無く安定した推移となった。BCH はオンライン証券 Robinhood による取扱開始を受け、わずかだが BTC 建てで上昇。

### 先週の主要トピックス

- ・分散型取引所 Bancor、2,350 万米ドル相当のハッキング被害が発覚。(7/9)
- ・台湾家電 HTC、年内に Cryptokitties アプリ内蔵のスマホ販売へ。(7/10)
- ・Opera、仮想通貨ウォレット内蔵の Android 向けブラウザローンチへ。(7/11)
- ・米国、仮想通貨を重点分野とする詐欺対策タスクフォース設置へ。(7/11)
- ・国連事務総長、ブロックチェーン技術を議題とするパネル立ち上げ。(7/12)
- ・タイ中銀総裁、銀行業務へのブロックチェーン導入を検討。(7/12)
- ・米司法省、仮想通貨を使い大統領選に介入したロシア諜報員を起訴。(7/13)
- ・米国取引所 Coinbase、アルトコイン 5 通貨の新規上場を検討。(7/13)
- ・スイス大手証券グループ、仮想通貨取引サービス提供を検討。(7/15)

	BTC/JPY	ETH/JPY	XRP/JPY	BCH/JPY
9-Jul	741,112	53,075	52.80	82,512
10-Jul	709,739	49,047	50.17	78,100
11-Jul	708,936	49,218	49.96	78,128
12-Jul	695,023	48,460	48.89	77,095
13-Jul	703,102	49,210	49.59	79,236
14-Jul	700,995	48,947	49.14	78,466
15-Jul	711,913	49,958	50.04	81,076
前週末比	▲ 4.03%	▲ 6.83%	▲ 6.15%	▲ 3.65%

※終値を日本時間 0:00 とする

### 今週の相場予想

BTC は 70-74 万円でのレンジ相場となるか。SEC によるビットコイン承認可否の判断が来月になるとの見通しが立ち、市場では様子見姿勢が強まると考えられる。企業による仮想通貨・ブロックチェーン業界への参入は進んでいるものの買い材料には乏しい。一方で、懸念される規制についても各国が良い意味で法整備に動いており、それが大きな売り材料になることも考えづらい。突発的なハッキング被害等が起きれば当然価格は下げうるが、下値は堅いと見る。再び買いが優勢となり、上値として見られる BTC=74 万円を大きく超えることができるかに注目したい。

## 業界関連動向

### 規制動向

先週は韓国で動きが見られた。7/13~7/26 の間で開かれる臨時国会において、韓国議員が提示した仮想通貨・ブロックチェーン技術に関する新規制草案が議論されている。また、韓国規制当局もまた政府会合にてブロックチェーン技術推進を目的とした法整備を進めることに同意している。韓国は昨年 ICO 禁止措置を取る等仮想通貨に対して厳しい姿勢を示していたが、今年に入りその姿勢を次第に緩めている。前月にはその ICO 全面禁止を見直す動きも見られ、今後国としてさらに仮想通貨・ブロックチェーン業界を発展させる方向に動いていくと思われる。その他、インド政府が仮想通貨をコモディティとして扱うことを検討との報道が見られた。

### 技術動向

最近になって ETH のトランザクション数が増え Gas コストが高騰している問題で、その原因が iFishYunYu (iFish) というスパム攻撃によるものであると Reddit ユーザーの "ProbablynotaRussian" さんが指摘した。iFishYunYu (iFish) は 2 週間ほど前に ERC20 をコピーして作られた、何の特徴も無いトークンである。この iFish トークンが定期的に 210 iFish ずつ 500 を超えるアドレス宛に送金され、1 時間で 50ETH もの Gas が使われていたと言う。驚くべきことに、最近の ETH ネット上の取引の 40% をこれらが占めていた。誰がやったのかと疑問に思うかもしれないが、送金先アドレスが過去に大量の EOS を保有していたことから、EOS 関係者の疑いがかけられている。

### 個別企業動向

7/10、2015 年の ICO プロジェクト Augur がメインネットへの移行を発表した。Augur は ETH ベースで開発が行われ、分散型市場予測プラットフォームの構築を目指している。「ある事象に対しユーザーが未来を予測してトークンを Bet し、結果が正しければトークンを得られる」というギャンブル的要素が強い為、Augur の普及には各国における賭博に関する法整備が必要となるが、今回のメインネット移行を受けて、少なからず仮想通貨ユーザー内の注目度、期待感が高まっている。その他、2017 年の ICO プロジェクト SirinLabs がブロックチェーン掲載スマホの販売を 11 月に開始すると発表した。ブロックチェーン 掲載 PC の開発も進めているとのことである。

### コラム：若者が仮想通貨投資に夢中になるのは悪いこと？①

日本では若者を中心に、多くの人が仮想通貨投資に夢中になっている。彼らは「投資」ということに抵抗を覚えるにもかかわらず、なぜ仮想通貨投資については躊躇しないのだろうか。「少額から始められるから、一攫千金狙えるから、流行りだから」等々その理由は様々考えられるが、私が思うに、仮想通貨は従来の金融商品に比べ「簡単」であるからという理由が大きい。仮想通貨と株式、私の感覚では前者の方が断然難しいが、彼らがそれを「簡単」と思うのは、多くの投資家が仮想通貨をきちんと理解することなく投資しているからである。時にそれは仮想通貨を投機対象としてしか見ていないと非難されるが、果たして本当に悪いことなのだろうか。

・本資料は情報提供を目的とし、弊社が信頼でき、正確であると判断した情報に基づき作成されていますが、弊社はその情報の正確性を保証するものではありません。  
 ・記載された意見や憶測等は作成当時の筆者の一見解を示すものであり、記載された内容を投資等にご利用になる際には、ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。